

NY マーケットレポート (2014年11月18日)

NY 市場では、序盤から安倍首相の消費税増税の延期表明が日本企業の業績回復の追い風になるとの思惑から、円を買ってドルを売る動きが先行した。しかし、日銀の金融政策決定会合や黒田日銀総裁の会見、それに米 FOMC の議事録公開を控えて様子見ムードも強く、ドル円・クロス円はやや上値の重い動きとなった。しかし、欧米の景気改善期待を背景に、欧米の株価が上昇したことを受けて、ドル円・クロス円は終盤まで堅調な展開が続いた。

2014/11/18 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	116.70	116.79	116.43
EUR/JPY	145.73	145.58	145.14
GBP/JPY	182.77	182.79	182.26
AUD/JPY	101.79	101.86	101.47
EUR/USD	1.2489	1.2495	1.2444

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	117.06	116.40
EUR/JPY	146.70	145.62
GBP/JPY	183.34	182.27
AUD/JPY	102.23	101.37
EUR/USD	1.2541	1.2481

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17344.06	+370.26
ハンセン指数	23529.17	-267.91
上海総合	2456.37	-17.64
韓国総合指数	1967.01	+23.38
豪ASX200	5399.69	-12.85
インドSENSEX指数	28163.29	-14.59
シンガポールST指数	3313.73	+25.06

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6709.13	+37.16
仏CAC40	4262.38	+36.28
独DAX	9456.53	+150.18
ST欧州600	339.30	+2.05
西IBEX35指数	10432.90	+123.90
伊FTSE MIB指数	19352.95	+136.21
南ア 全株指数	50372.05	-139.47

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	116.85	117.01	116.34
EUR/JPY	146.49	146.65	145.74
GBP/JPY	182.70	182.94	182.26
AUD/JPY	101.96	102.11	101.51
NZD/JPY	92.62	93.01	92.47
EUR/USD	1.2537	1.2546	1.2502
AUD/USD	0.8726	0.8735	0.8708

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17687.82	+40.07
S&P500	2051.80	+10.48
NASDAQ	4702.44	+31.44
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	14972.97	+90.47
🇧🇷 ボルサ指数	43491.45	+119.44
🇧🇪 ボベスパ指数	52061.86	+804.87

11/19 経済指標スケジュール

08:30	【豪】10月ウエストバック先行指数
09:00	【豪】10月DEWRインターネット求人指数
13:30	【日】9月全産業活動指数
14:00	【日】9月景気一致CI指数
14:00	【日】9月景気先行CI指数
14:30	【日】10月全国百貨店売上高
14:30	【日】10月東京地区百貨店売上高
17:00	【南ア】10月消費者物価指数
18:00	【欧】9月経常収支
18:30	【英】11月英中銀 議事録
19:00	【スイス】11月ZEW景況感調査
19:00	【欧】9月建設支出
21:00	【米】MBA住宅ローン申請指数
22:30	【米】10月住宅着工件数
22:30	【米】10月建設許可件数
04:00	【米】FOMC議事録公表[10月28、29日分]

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1197.10	+13.60
NY 原油	74.61	-1.03
CME コーン	385.00	-5.50
CBOT 大豆	1023.25	-13.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.50%	0.51%
3年債	0.95%	0.96%
5年債	1.61%	1.63%
7年債	2.02%	2.04%
10年債	2.32%	2.34%
30年債	3.05%	3.05%

11/19 主要会議・講演・その他予定

・黒田日銀総裁 定例会見

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

欧州タイム

22:00

ドル/円 116.65 ユーロ/円 145.85 ユーロ/ドル 1.2504

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6706.82	+34.85	ダウ INDEX FUTURE	17625	+8
仏 CAC40	4262.91	+36.81	S&P500 FUTURE	2039.90	+0.20
独 DAX	9429.05	+122.70	NASDAQ FUTURE	4212.75	+0.50

(出所:SBILM)

22:30

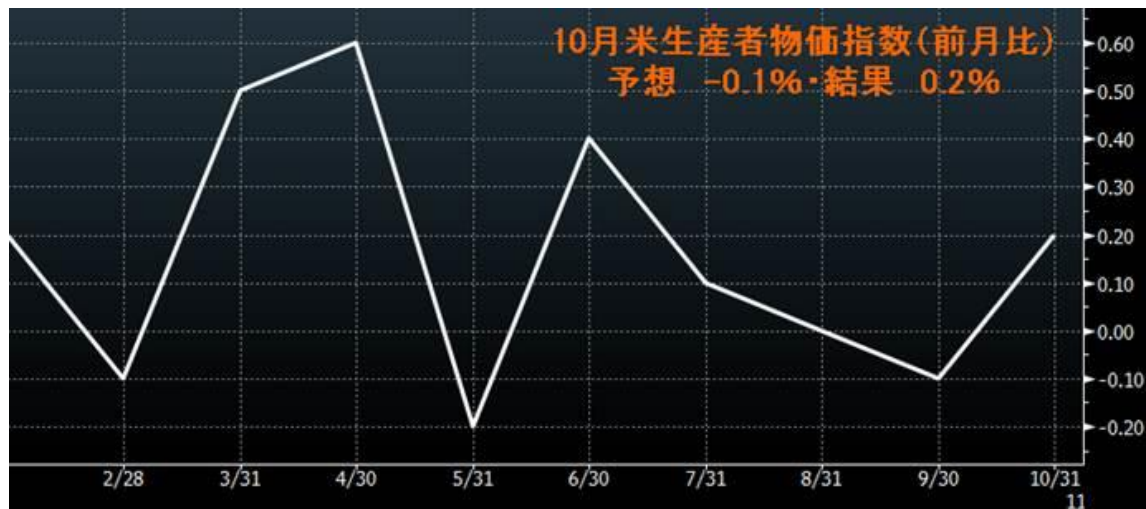
◀ 経済指標の結果 ▶

10月米生産者物価指数(前月比) 0.2%(予想 -0.1%・前回 -0.1%)

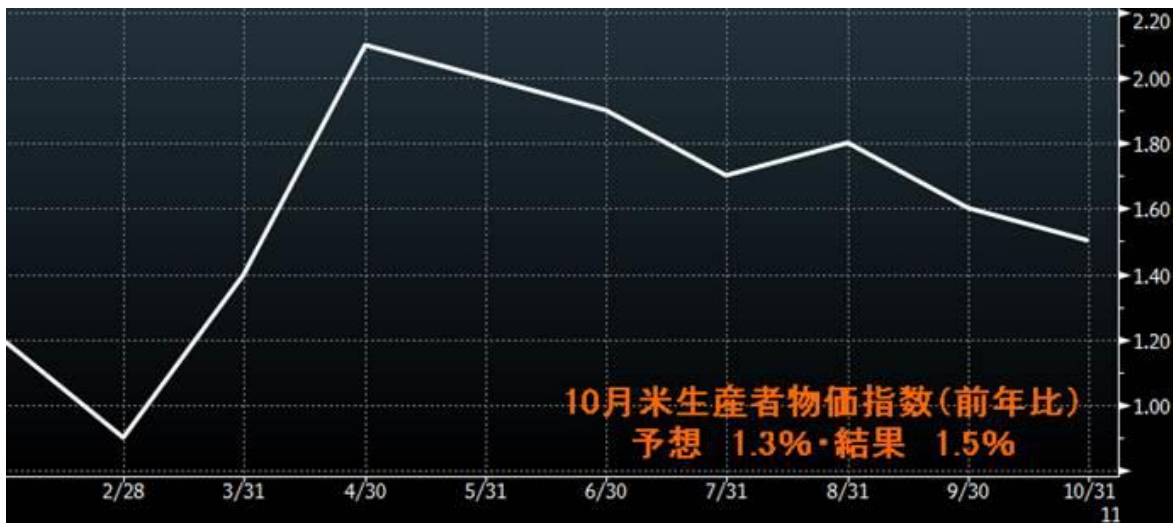
10月米生産者物価指数[コア] 0.4%(予想 0.1%・前回 0.0%)

10月米生産者物価指数(前年比) 1.5%(予想 1.3%・前回 1.6%)

10月米生産者物価指数[コア] 1.8%(予想 1.5%・前回 1.6%)



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《生産者物価指数》

	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
完成品	0.2	-0.1	0.0	0.1	0.4	-0.2	0.6
除く食品・エネルギー	0.4	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	0.3
エネルギー全体	-3.0	-0.7	-1.5	-0.6	2.1	-0.2	0.1
消費財	-0.4	-0.2	-0.3	0.0	0.5	-0.2	0.6
サービス	0.5	-0.1	0.3	0.1	0.3	-0.2	0.6

《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、安倍首相の消費税増税の延期表明が日本企業の業績回復の追い風になるとの思惑から、円を買ってドルを売る動きが優勢となった。

23 : 34

米主要株価

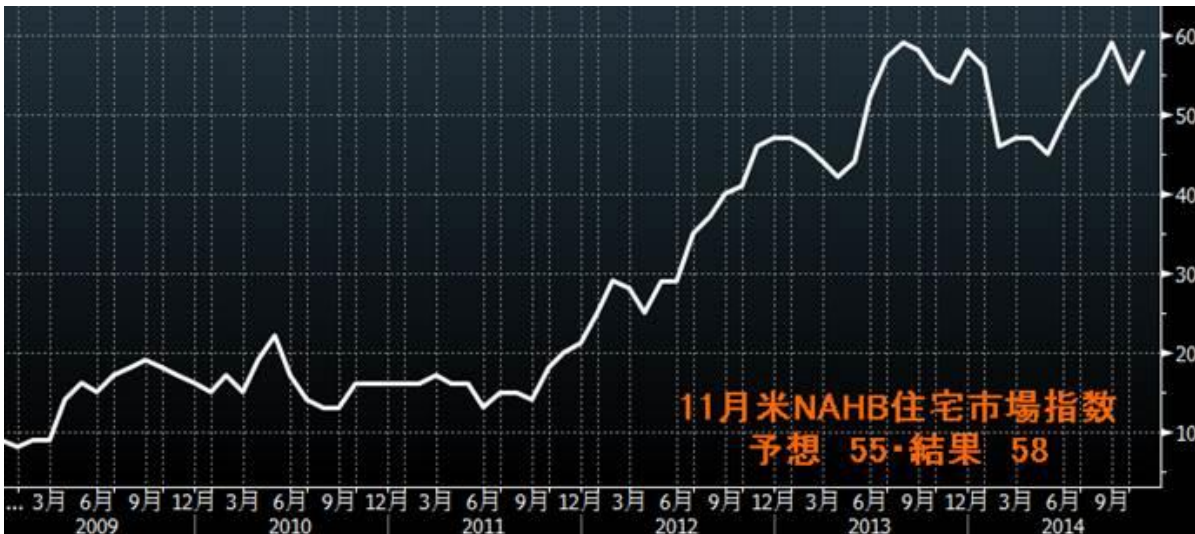
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17645.72	-2.03
ナスダック	4678.39	+7.38

(出所:SBILM)

0 : 00

《 経済指標の結果 》

11月米NAHB住宅市場指数 58 (予想 55・前回 54)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《NAHB 住宅市場指数》

	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月
住宅市場指数	58	54	59	55	53	49	45
現状指数	62	57	63	58	57	54	48
見通し指数	66	64	67	65	64	59	57
顧客動向指数	45	41	47	42	39	36	33

0:30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、欧州の主要市場で株価が軒並み堅調に推移していることや、米企業の決算発表で好調な業績が相次いだことも支援材料となり、主要株価は堅調な動きとなっている。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で47ドル高まで上昇する動きも見られた。

《 経済指標のポイント 》

(1) 10月の米卸売物価指数は、前月比+0.2%となり、市場予想の-0.1%を上回る結果となった。前年同月比では+1.5%となった。食品やエネルギーなどを含むモノの需要がエネルギー製品の下落などでマイナスとなる一方、サービス需要がプラスとなり物価全体が前月水準から上がった。変動の激しい食品とエネルギーを除いたベースの総合指数は、前月比+0.4%となった。

①品目別では、エネルギー製品全体が-3.0%となり、2013年3月以来の大きな値下がりとなり、ガソリンや家庭用燃料油が値下がりした。食品全体は+1.0%、牛肉、豚肉や野菜が値上がりした。

②手数料や輸送コストなどのサービスは、前月比+0.5%と2013年7月以来の大きな上昇率となった。サービスのうち、貿易が+1.5%、輸送・倉庫は-0.1%となった。サービスの前年同月比は1.8%上昇した。

(2) 11月のNAHB住宅市場指数は58となり、前月の54を上回り、市場予想の55も上回る結果となった。業況感の改善と悪化の分岐点となる50を上回るのは5ヵ月連続となる。

①一戸建て住宅販売状況に関する指数は62(前月57)、向こう半年の一戸建て住宅販売指数は66(64)、潜在的な住宅購入者指数は45(41)にそれぞれ上昇した。

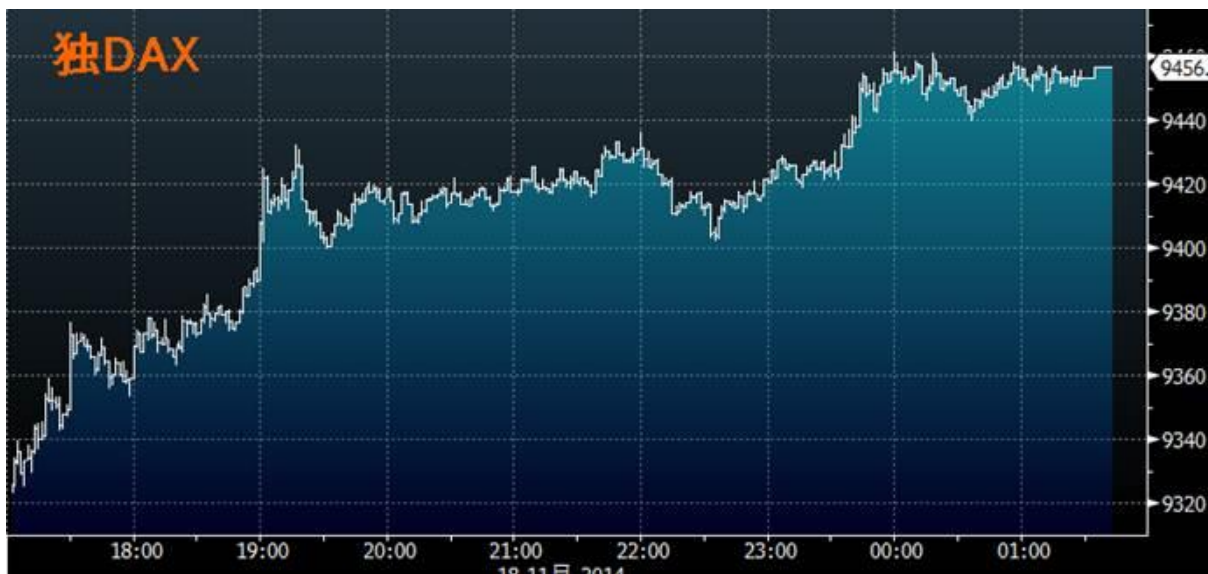
②NAHB 関係者は、低金利や手頃な住宅価格、雇用創出の堅調さが住宅市場の着実な回復に寄与しているとし、2015年もこの勢いが継続するとの見方を示した。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6709.13	+37.16
仏 CAC40	4262.38	+36.28
独 DAX	9456.53	+150.18
ストック欧州 600 指数	339.30	+2.05
ユーロファースト 300 指数	1360.22	+8.21
スペイン IBEX35 指数	10432.90	+123.90
イタリア FTSE MIB 指数	19352.95	+136.21
南ア アフリカ全株指数	50372.05	-139.47

(出所:SBILM)

《 欧州株式市場 》

欧州株式市場は、ドイツの景況指標が改善し、欧州経済の先行き懸念が後退したことから、主要株価は堅調な動きとなった。また、ECBによる追加緩和への期待も下支え要因となった。



(出所:ブルームバーグ)

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 17688.66 (+40.91)、 S&P500 2050.04 (+8.72)、 ナスダック 4697.90 (+26.90)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、前日の相場下落で値頃感が出たとして、中長期債を中心に米国債の買いが先行した。10月の米生産者物価指数が市場予想に反して上昇したが、食品、エネルギー、貿易を除いた指数の上昇率が小さく、インフレは引き続き抑制されていると受け止められたことも国債の買い材料となった。

午前の利回りは、30年債が3.05%（前日3.06%）、10年債が2.32%（2.34%）、7年債が2.03%（2.04%）、5年債が1.61%（1.63%）、3年債が0.96%（0.96%）、2年債が0.51%（0.51%）。

3:30

◀ 要人発言 ▶

コチャラコタ・ミネアポリス連銀総裁～講演テキスト

- ・「2015年の利上げは不適切とあらためて主張」

4:40

NY金は、中心限月が前日比13.60ドル高の1オンス＝1197.10ドルで取引を終了した。

5:30

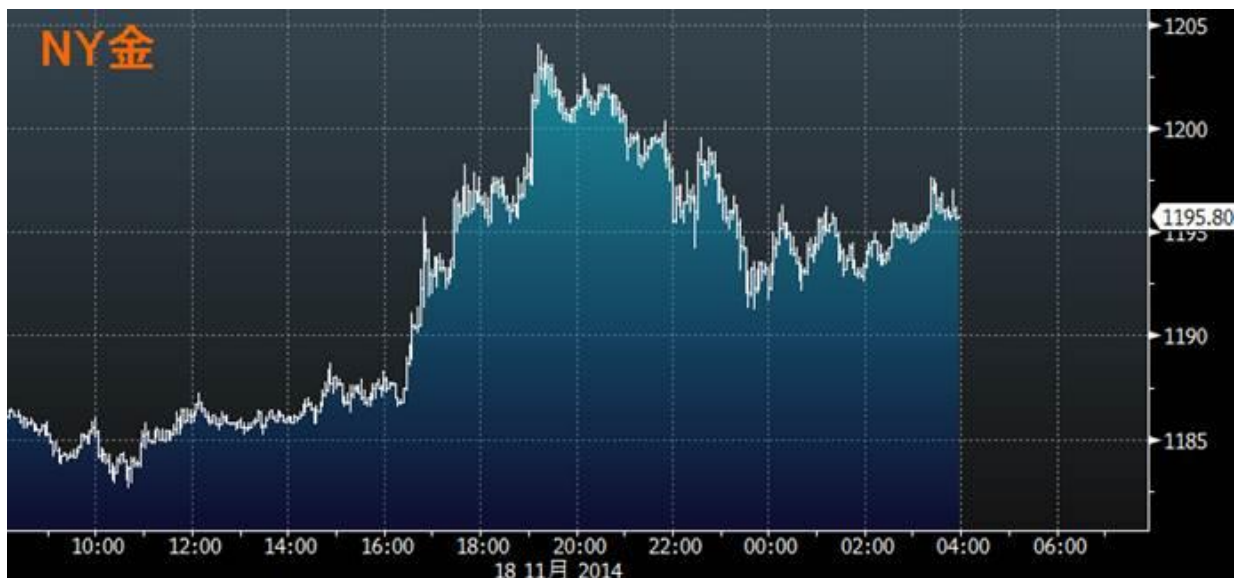
NY原油は、中心限月が前日比1.03ドル安の1バレル＝74.61ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1197.10	+13.60
NY 原油	74.61	-1.03

(出所:SBILM)

◀ NY金市場 ▶

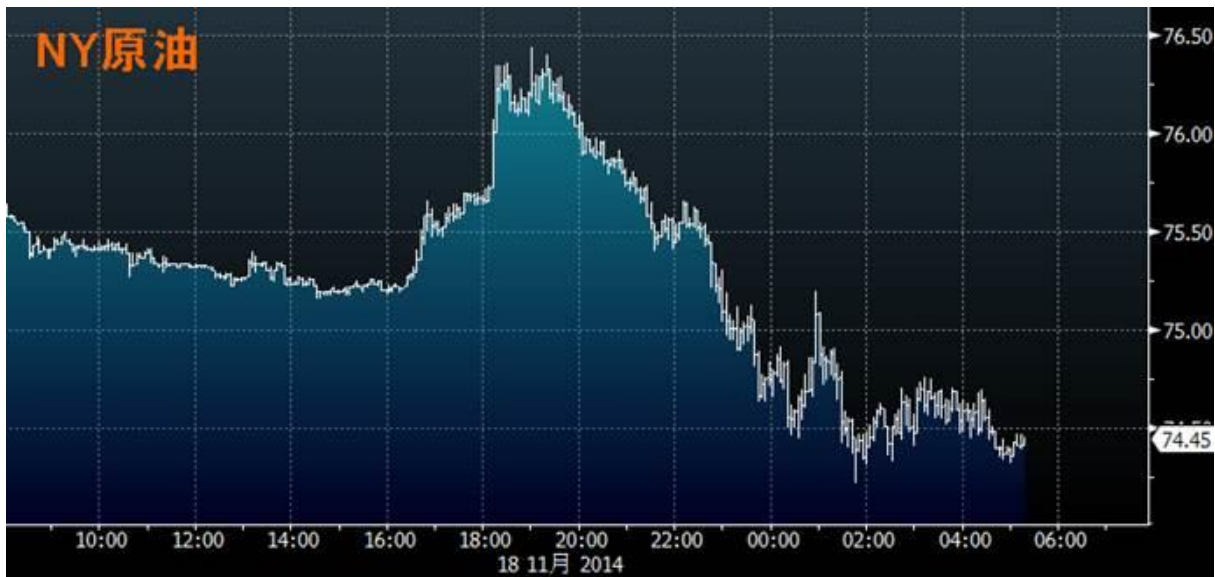
NY金は、ドルがユーロなどに対して下落したため、ドルの代替資産とされる金を買う動きが優勢となった。また、ウクライナ情勢への懸念が再び高まっていることや、パレスチナ問題など中東情勢の先行き不透明感が広がったことも材料視された。



(出所:ブルームバーグ)

◀ NY原油市場 ▶

NY原油は、OPEC（石油輸出国機構）が来週の総会で減産に動く可能性は薄いとの見方が、引き続き売り材料となった。また、イラン核問題をめぐる同国と欧米など6カ国との協議が再開し、対イラン制裁の緩和が意識されたことも売り材料となった。

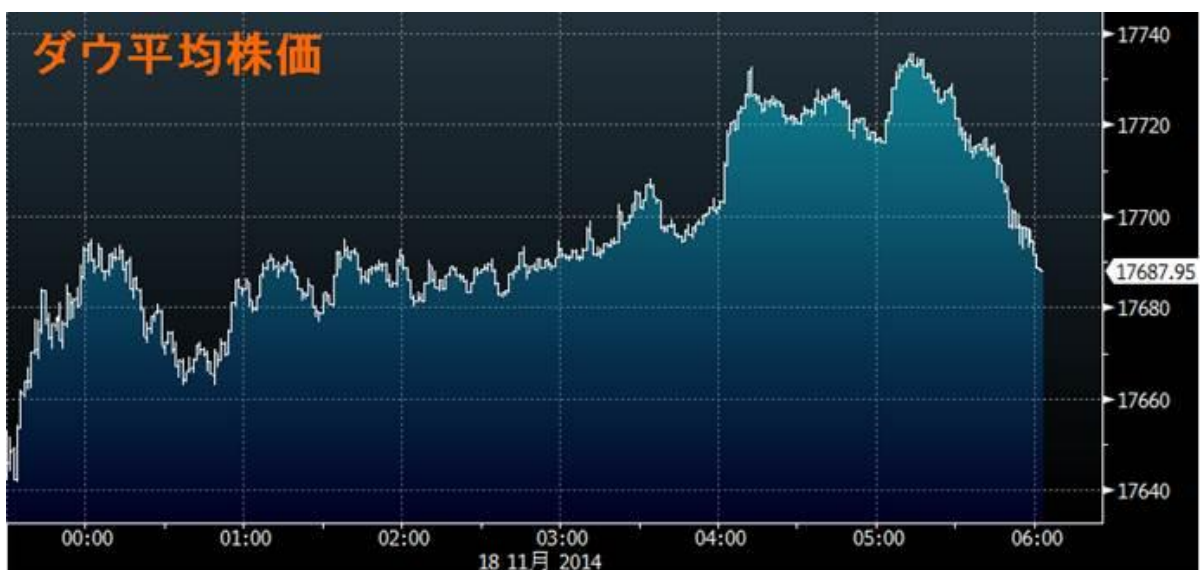


主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17687.82	+40.07	17735.71	17642.03
S&P500 種	2051.80	+10.48	2056.08	2041.48
ナスダック	4702.44	+31.44	4709.83	4674.30

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、欧州の主要市場で株価が軒並み堅調に推移していることから、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。また、米企業の決算発表で好調な業績が相次いだことから、米景気に対する楽観的な見方も広がり、終盤まで堅調な動きが続いた。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、終盤には一時前日比で 87 ドル高まで上昇し、取引時間中の最高値を更新する動きとなった。



主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	116.85	117.01	116.34
EUR/JPY	146.49	146.65	145.74
GBP/JPY	182.70	182.94	182.26
AUD/JPY	101.96	102.11	101.51
NZD/JPY	92.62	93.01	92.47
EUR/USD	1.2537	1.2546	1.2502
AUD/USD	0.8726	0.8735	0.8708

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、日銀の金融政策決定会合や黒田日銀総裁の会見、それに FOMC の議事録公開を控えて様子見ムードも強く、ドル円・クロス円はやや上値の重い展開で始まった。しかし、その後は欧米の景気の改善期待を背景に、米の株価が上昇したことを受けて、ドル円・クロス円は終盤まで堅調な展開が続いた。



(出所: ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。